

# 3-2 現代的な諸課題に対応していく

## SDGsへの取り組み

SDGsと関連の深い各単元の内容には、SDGsアイコンを付して、持続可能な社会への意識を高められるようにしています。巻末では、学習内容とSDGsとの関連をまとめています。また、6年では最初と最後の単元でSDGsについて学ぶ構成にしているため、年間を通してSDGsについて考えることができます。



3年p.174

4年p.198

5年p.166



6年p.9「地球と私たちのくらし」



6年p.72「生き物どうしのかかわり」

6年では、持続可能な社会の構築のために自らができることを考える場面を設けているよ。児童自身が持続可能な社会の担い手であることを、実感できるようになっているんだ。



## 防災・減災教育への取り組み



6年p.112~115「変わり続ける大地」



6年「変わり続ける大地」では、地震と火山の噴火による大地の変化について学び、それらを生かして、自然災害や防災・減災について考える構成にしています。



# 3-3 安全で、充実した理科学習

## 安全教育

**きけん**

**▶ 熱い湯がふき出すのをふせぐため、水にふっとう石を2〜3こ入れる。**

**▶ 実験が終わったら、すぐに火を消す。**

**▶ 火を消しても、加熱器具やビーカーなどは熱くなっているため、しばらくは、さわらない。**

**実験1**

水を熱したときの温度の変わり方と、水の様子を調べましょう。

- 実験そうじを組立てる。
- 水を熱して、水の温度を1分ごとに記録し、水の様子についても、気づいたことを記録する。

カメラを使って記録してもよい。

加熱器具は、192〜193ページを見て、正しく使う。

または、ビーカーのかわりに、丸底フラスコを使ってもよい。また、実験用ガスこんろのかわりに、アルコールランプを使ってもよい。

**きけん**

▶ 熱い湯がふき出すのをふせぐため、水にふっとう石を2〜3こ入れる。

▶ 実験が終わったら、すぐに火を消す。

▶ 火を消しても、加熱器具やビーカーなどは熱くなっているため、しばらくは、さわらない。

用意する物  ビーカー  ふっとう石  温度計  アルミニウムはく  加熱器具  スタンド  金あみ  ストップウォッチ  ほごめがね

実験をする前とした後には、手をあらおう。 161

安全に対する配慮が必要な場面では、もれなく「きけんマーク」を付け、禁止事項とその理由を赤字で強調しています。

4年p.161「水のすがたと温度」

## 生命尊重

生命愛護や環境保全に関わる内容には、「かんきょうマーク」を付けて強調しています。

**かんきょう**

トンボやバッタなどを持つときは、からだやはねを、そとつかむようにしましょう。また、かんさつしたら、もとの場所に放しましょう。

## 感染症対策

他者と器具を共用する可能性のある観察・実験などでは、「手洗いマーク」を付け、手洗いを促す記述を入れています。

**手洗い**

かんさつをする前とした後には、手をあらおう。

**かんさつ2**

こん虫のからだを調べましょう。

- トンボやバッタなどのからだの分かれ方と、あしやはねの数を調べる。  
●あしやはねは、どの部分にあるだろうか。
- トンボやバッタなどの動き方を調べる。  
ふたにあなをあける。

用意する物  虫めがね  どう明な入れ物  記録カード

かんさつをする前とした後には、手をあらおう。 73

3年p.73「こん虫のかんさつ」